

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（学校運営協議会）

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	関係者評価
安全・安心な学校づくり	キラリ&ホットの視点に基づいた生徒指導の推進	・キラリ&ホットの視点を意識して人権を尊重した言動を行うことができた職員100%	・成果目標が達成できた職員100% ・教員は、子どもに対して気持ちや人権を配慮した適切な関わりをしていると感じる保護者97.8%	A	A
	安全な医療的ケアを実施するための環境づくり	・医療的ケアに関心をもったり、安全に医療的ケアを実施したりすることができた職員100%	・成果目標が達成できた職員96.1% ・学校は、安心して任せられる医療的ケア体制を整えていると感じる保護者82.4% ・学校は、災害発生時の医療的ケアの対応について保護者と確認をしていると感じる保護者85%	B	B
	安全で健康的な学校生活をおくるための環境づくり	・提示された情報をもとに日々の学校生活に潜む危険に注意を向けることができた職員90%	・成果目標が達成できた職員100% ・学校は、感染症に関する対策を適切に実施していると感じる保護者93.2%	A	A
	将来の豊かな生活に向けた計画的な食育の推進	・年間を通して、児童生徒の食への興味関心を広げる取組を行うことができた職員90%以上	・成果目標が達成できた職員94.7% ・学校は、安全な食事指導をしていると感じる保護者92.1%	A	A
	災害時、非常時における判断力、行動力、連携の向上につながる訓練・研修・振り返りの充実	・自らの立場や役割の中で、あり得るリスクとリスク回避の行動を考えることができた職員90%以上	・成果目標が達成できた職員98.4% ・学校は、災害時に備えて適切な防災訓練を実施していると感じる保護者93.3%	A	A
	児童生徒の実態に合った、安全で生活しやすい環境づくり	・児童生徒の実態に合った、生活しやすい教室環境を整えることができた職員100%	・成果目標が達成できた職員99.3% ・学校は、清潔で動線が確保された生活しやすい環境であると感じる保護者78.6%	B	B
	自分の考えや意見を安心して発言できる環境づくり	・話し合いにおいて、自身の考えや意見を安心して伝えられていると実感できた職員100%	・成果目標が達成できた職員97% ・学校は、障害を配慮した安心して任せられる指導環境が整っていると感じる保護者91.1% ・子どもは、登校を楽しみにしていると感じる保護者96.6%	B	A

生きる力を育む授業実践	「他者の考えから新たな視点や気づきを得て、自身の考えを広げ深める」という学びのある授業実践、生活指導	・個別最適な学びのさらなる充実と、協働的な学びを意識した授業づくり、生活指導を行うことができた職員 90%	・成果目標が達成できた職員 97.7% ・子どもは、日々の授業をとおしてできることが増え、そのことが生活の広がりにつながっていると感じる保護者 96.6% ・学校は、子どもにとって学びのある（何ができるようになるかや生活への広がりを意識した）授業を実践していると感じる保護者 96.6%	A	A
	ICT をツールとして活用する授業実践、生活指導	・ICT をツールとして活用した授業実践を行った職員 100%	・成果目標が達成できた職員 94.5%	B	B
	他者と協働したり自分の考えを伝えたりする等、保健体育の見方・考え方で育成を目指す資質・能力を育む授業実践	・保健体育の見方・考え方で育成を目指す資質・能力を育む授業実践を行うことができた、または授業実践の価値を答えることができた職員 90%以上	・成果目標が達成できた職員 A 92.2%	A	A
	各教科等で育む資質・能力の育成を支える自立活動の指導の実施	・自立活動の視点での学びを教科等の授業実践で生かすことができた職員 90%以上	・成果目標が達成できた職員 94.6%	A	A
地域や社会に開かれた学校づくり	地域資源を活用した学習や、地域の学校との関わりの推進と学びの効果の発信	・地域に発信することを考えて、作品づくりをしたり、つながりを実感したりすることができた職員 90%	・成果目標が達成できた職員 97.7% ・学校は、地域との交流（他校や関係機関）を大切にしている。と感じる保護者 85.4%	A	A
	保護者や関係機関、地域と連携し、課題解決を図る	・保護者、関係機関、地域との連携を図ることができたり、連携していることを知ったりすることができた職員 80%以上	・成果目標が達成できた職員 99.2%	A	A
	地域との連携等を意識した個別の教育支援計画の作成計画の実施	・連携することを意識して個別の教育支援計画を作成することができた職員 80%以上	・成果目標が達成できた職員 99.2% ・教員は、個別の教育支援計画及び個別の指導計画について、十分説明していると感じる保護者 98.9% ・教員は、子どもの良さや成長を保護者に十分説明していると感じる保護者 100%	A	A

	<p>現在や将来の豊かな生活を目指すための関係機関との連携を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携や関わりから、児童生徒の現在や将来の豊かな生活を目指し、支援・指導することができた職員 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標が達成できた職員 97% ・学校は、「ライフキャリア通信」、「事業所見学」、「個別面談」、「進路説明会」などで、進路に関する情報を分かりやすく伝えられていると感じる保護者 94.5% 	A	A
	<p>社会とつながる教育活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館での図書紹介や各種作品展をとおして社会と関わることをできたといえる職員 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標が達成できた職員 93.8% ・学校は、子どもの作品や学習の成果等を適切に掲示し、意欲を引き出す環境づくりができていていると感じる保護者 97.7% 	A	A